

第12回グラウンド・ゴルフ大会 「個人ゲーム」開催

坂下地区体育振興会

会長 寺門 修一

昨年は雨天中止だったため、2年ぶりに第12回グラウンド・ゴルフ大会「個人ゲーム」を6月9日(日)開催いたしました。10地区から男性43人、女性17人、計60人のエントリーがあり、坂下広場の2コース4ラウンドに挑みました。

参加者が年々減っており、各地区の同好会でも高齢化に悩んでいるとのこと。グラウンド・ゴルフは体力や年齢の制限が少なく、年齢を重ねてからでも十分楽しめる競技であるので興味のある方は始めてみてはいかがでしょうか。

10月27日には「団体ゲーム」を開催します。多数の参加をお待ちしています。

個人ゲームの結果は次の通りです。

男性の部

- 優勝 安倍 隆義 (久慈団)
- 準優勝 黒澤 巖 (石名坂)
- 3位 白石 正美 (久慈団)
- 4位 横山 宣行 (南高野)
- 5位 今村 安夫 (久慈団)
- 6位 本間 武男 (赤羽根)

女性の部

- 優勝 大友美津子 (久慈団)
- 準優勝 中村 緑子 (石団)
- 3位 高橋 幸子 (石団)
- 4位 横山 和子 (南高野)
- 5位 高野 弘子 (児島)
- 6位 高野 明美 (児島)



三味線と朗読会

坂下地区コミュニティ推進会 生涯学習事業

6月8日(土) 今回で5回目となる水戸朗読の会による朗読会の講演を開催し、坂下地区内外から50人を超える方にお越しいただきました。

また、地域で開催される事業を撮影してNHKいわば6などにビデオ投稿をして地域活性にご尽力されている方の撮影もありました。

水戸朗読の会は茨城にゆかりのある人物を題材に講演していますが、今回は幼い頃に生き別れた母を探すやくざの忠太郎の物語「瞼の母」の公演でした。出演者3人がそれぞれ4〜5人を声色を変えての演技はとても素晴らしく、これが「文字に命を吹き込む」ということなのかと感動しました。



水戸朗読の会の皆さんと杵屋ちよさん



また、三味線の杵屋ちよさんの演奏が場面を盛り上げとても素晴らしい演出でした。杵屋ちよさんは北野武監督の映画「座頭市」の三味線を担当された方で、素晴らしい音色を聞けたことは大変良かったです。

幕の終盤、忠太郎がステージから駆け下り「おっ母さーん」と叫ぶ演出は感動的でした。

時間を忘れ豊かなひと時を過ごせる朗読劇、次回はどんな人物が題材の公演か楽しみです。



熱演されるお二人

(2) いきいき健康クラブ（南部支所）
参加者 21 名

雨が激しく降るとの予報なので山頂に登るのを断念し、急遽行程を変更して筑波山拝殿前で記念写真を撮り、日立風土記の丘の「まがりや」で十割そばやうどんを堪能しました。

雨のドライブとなりましたが、社内で語り合う時間が取れて良かったです。



令和 6 年 6 月 1 8 日 実施

ヘルマンハープ演奏会 生涯学習事業担当

7月6日(土)、『美味しいコーヒーを飲みながら、優雅なひと時を過ごしませんか』というキャッチフレーズで、日本ヘルマンハープ振興会認定トレーナーの高橋久美子さんをお招きして演奏会を開催しました。

ヘルマンハープは美しい音色と余韻が特徴で誰でも演奏できるように楽譜に工夫がされている楽器です。七夕さま、涙そうそう等、馴染みのある曲をヘルマンハープで聞くといつもと違った印象に聞こえました。



演奏後は「わくわくカフェ」にコーヒーを提供していただき、楽器の歴史など聞きながら優雅なひと時を過ごしました。最後は楽器を体験する時間を作りました。少し説明していただき、弾いてみると曲の旋律が弾け、歓声が上がっていました。

今回は女性限定で実施しましたが、次回は男性の皆さんにも聞いていただきたいと思っています。

久慈川クリーン作戦に参加して 環境美化推進会



行事に先立ち挨拶する大貫会長

7月7日(日)に令和6年度の久慈川クリーン作戦に環境美化部の地区委員さん達と共に久慈川クリーン作戦に参加しました。

この事業は毎年この時期に国土交通省河川国道事務所が主催し、日立市が協賛して多くの人たちの参加を得て、久慈川の河川敷を綺麗にしようと実施されており、海水浴場の清掃作業と同じようなものです。

坂下地区コミュニティ推進会からも地元として例年多くの会員さんや役員さんが参加されていましたが、近年は皆さん多忙なのか寂しい状況

が見られるため、今年は環境美化部として地区委員さんに参加を呼びかけました。

当日は猛暑の中、100名を超える多数のボランティアさん達が久慈大橋を中心に上流側、下流側の河川敷をゴミ袋を手空き缶、ペットボトルをはじめ様々なゴミを回収して回りました。

皆さん全身汗だくでの作業となつてしまい、本当に大変でしたが、今年は例年に比べてゴミの量が少なく、驚かされると共に、遊びに来る人たちのマナーも良くなれば、と感じました。



環境美化部の皆さんと大貫会長